

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―一九
甲府地方方法務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。土くさくあたたかい言葉です。

力ください。終りに、参加手続きについて、個人々人にお願います。事となりましたが、よろしくお願いたします。

《会場・受付部門》
大会会場となるバンケットホール正面には壮麗富士の全容を望むこととなる。数回の会場下見をもとに、大会・講演会・意見交換会・分科分散会などの各会場も決定した。こうしたメインとなる会場以外にも、理事会・総会、編集・企画委員会、また来賓・出演者控室等々、会場確保だけでもかなり複雑、当日は混乱のな

いよう、看板や案内図の手に配にも万全を期したい。
大会を彩る展示コーナー・土産物・観光案内コーナーも用意される。展示コーナーはバンケットホール入口付近に展示パネルや大型テレビを設置し、本県の委員活動の現状を映像で紹介する。来県される委員に、広く本県を知ってもらおうとの企画だ。

いよいよ関フ口大会

県連傘下委員の総力結集を!

一 一年ぶりに本県で開催される関東人権擁護委員連合会大会・研究大会が、あと二ヶ月後へと迫った。

実行委員会を中心に準備が進められているが、その進捗状況と大会の概要について、各担当部門別に紹介する。

《総括部門》

実行委員会も六回を重ね、企画も固まり、司会者等当日の役割分担についてもそれぞれの部門の中で決定しました。

県知事をはじめ、甲府地方裁判所長・甲府地方検察庁検事正、地元富士吉田市長に加え、甲府地方方法務局長、山梨県弁護士会長のご出席を頂くよう検討を進めております。



皆様方に多大なご協力を頂いた協力金についても、予想以上の額となり、運営面でも心配する事がなくなりました。心から感謝申し上げます。それでは、企画内容のポイントと、今後の予定をお知らせします。

一 三時から開催する大会は、総会の報告が主となりますが、表にもあるとおり、来賓に東京法務局長、山梨

元民生委員からも聴講希望が多く、悩んでいます。分科・分散会では、「人権擁護委員活動が地域社会に知られていない」「事務局要員の交替が難しい」等共通した課題を抱えていることから、これら問題点をだし合い、徹底的に掘り下げた議論ができるよう、司会者が打合せを重ねています。

平成22年度 関東人権擁護委員連合会大会・研究大会概要	
開催日	平成22年6月17日(木)～18日(金)
会場	富士急ハイランドリゾートホテル
時刻	実施内容
17日 11:00	関東人権擁護委員連合会 理事会・総会 (各都県委員 33名出席：編集委員含む)
11:30	関東人権擁護委員連合会 編集委員会 (各都県委員 11名出席)
11:30	大会受付開始 (1階フロアー正面)
12:00	関東人権擁護委員連合会 企画委員会 (企画委員 10名)
13:00	関東人権擁護委員連合会大会開始 来賓 東京法務局長 甲府地方裁判所長 甲府地方検察庁検事正 山梨県知事 富士吉田市長 山梨県弁護士会長 甲府地方方法務局長 全国人権擁護委員連合会長 出席者 人権擁護委員 1都10県より 400名 (県外200、県内200)
13:40	理事会・総会・会務報告
14:05	休憩
14:15	講演会 講師 横田滋・早紀江夫妻 約600名出席 人権擁護委員 400名 地元民生委員 200名
15:45	休憩 (会場移動)
16:00	分科・分散会 (4会場：各テーマ2会場) テーマ ①人権擁護委員活動の現状と問題点 ②自主運営の現状と成果及び問題点
17:45	閉会 (会場移動)
18:00	意見交換会 (350名予定) アトラクション (ジャズ、民謡・舞踊、ろうあ太鼓) 次回開催県連群馬への引継ぎ
19:30	解散
18日	エクスカージョン (100名予定) 富士山周辺の観光地を案内

意見交換会と翌日のエクスカージョンも、山梨でなくてはの企画としました。今後も、大会資料の作成、参加者名簿等の作成、ホテルへの発注内容と費用の確定等、事前作業が山積しており、実行委員だけでは対応できない状況にあります。次回実行委員会で運営方法を検討する事としておりますので、積極的にご協

《研究会部門》
バンケットホール「富士」での大会開催行事の後、講師に横田滋・早紀江ご夫妻を招いて、「ブルーリボンに祈りをこめて」と題しての

講演会が予定されている。

講演終了後、四会場に分かれて、分科・分散会が開かれる。テーマは「人権擁護委員活動の現状と問題点」「自主運営の現状と成果及び問題点」の二つで、フリートークの形で運営されるが、すでに司会者・記録者が決まり、充実した研究会となるよう、関係者は合同で何度も打ち合わせや勉強会を重ね、準備を進めている。当日は建設的な多くの意見、委員同士の問題点の認識とその共有を期待したい。

《意見交換会部門》
研究大会終了後の午後六時より、バンケットホールにて「山梨の思い出づくり」に楽しいひとときを」の横断幕のもと、意見交換会が開催される。各都県の委員の方々の交流が、和気藹々和やかなうちに図れるよう、さまざまな工夫が企画されている。

予め各テーブルに県内委員を数名配置し、県外からの委員へのサービス、話し合い・交流が深まるようリードしていただく。アトラクションとして民謡・舞踊、ジャズ演奏、ろうあ太鼓をお願いし

て会場を盛り上げる。更に地元名物の吉田のうどんや甲府の鶏モツの屋台などを設けて、甲州の味を楽しんでいただく、等である。

《エクスカッション部》
大会翌日のエクスカッションは、富士急トラベルとの協議の結果、富士山五合目・忍野八海・リニア見学センターを回るコースに決定した。当コースの目玉は、なんと言ってもリニア見学だろう。現在リニアの走行運転・試乗は実施していないため、試乗は不可能との観測。県リニア推進課担当者の現地説明の了解はもらっている。当日ぎりぎりまで各方面と対応して、より充実したエクスカッションを目指している。県内委員にも多数参加していただきたい。

なお、大会当日の宿泊関係およびホテルまでの交通手段等は、全面的に富士急トラベルの協力をいただくことになっている。

甲府・峡南で研修会
平成二一年度甲府協議会の委員研修会が二月一九日中央市の玉穂生涯学習館で開かれた。内容は、駿河台大

学ハンドボール部監督鈴木徹

氏による講演、啓発ビデオ視聴、川崎人権擁護課長より「人権侵害事件について」の三つ。『障害を乗り越えて』の講演の中で鈴木氏は「①どのようになり越えたか②真のバリアフリーとは」についてを柱に、事故で片足を失い、義足でもアスリートとして活躍できるようになったのは、「夢」と「周りの人々の支え」があったからこそ、と語った。



また、どんな小さな目標でも「夢」になりうる、障害者も健常者も総合点では何も変わらない、「心が動けば体が動く」、自分でやろうとする姿がバリアフリーなのだ」と結んだ。体験に基づいた講演は説得力にあふれ、聴衆の心を打った。

一方、峡南協議会第三回研修会は、二月一八日身延町の下部ホテルで開催され、協議会委員三八名中三六名が出席、今年度の活動を締めくくりにふさわしい研修会となった。

研修前半は、須藤鯉沢支

局長の「相続登記と成年後見制度」、続いて同支局浅川係長の「人権相談から見た戸籍・国籍」と二つの講演が行われた。

休憩を挟んで後半は、当研修会恒例の研修会報告が行われた。今年度東京法務局で実施された男女共同参画問題研修会等の参加者による報告であるが、中央における研修内容を、広く委員に浸透させるよい機会といえる。また、中学生人権作文入賞作品朗読の録音を全員で聴くなど、盛りだくさんの研修であった。

関プロ山梨大会に向けて
中村 光壽(甲州)
一年に一度、各都県持ち回りで開催される関プロ山梨大会まで、あと二ヶ月となりました。
実行委員会の各担当部門の準備も着々と進められ、遠方から参加される委員の皆様を、心のこもったおもてなしで歓迎できる態勢が整いつつあります。
私も、意見交換会の司会者として参加させていただきませんが、県内の委員の皆様全員が参加され、大会が成功裏に、心に残るものとなりますよう願っております。

皇連・各協議会の定時総会

平成二二年度の総会開催日程は次の通り。

□ 県連総会及び講演会
日時 五月二一日(金)
午後二時三〇分

□ 都留協議会総会
日時 四月一四日(水)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 峡南協議会総会
日時 四月二一日(水)
午後一時三〇分

□ 退任された委員の方々
平成二二年四月一日までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りします。(敬称略)

井上みさ子(笛吹市)

早川 元弘(笛吹市)

編集後記
今回は関プロ大会特集号です。よい大会になるよう頑張ります(編集部)

（編集部）

講演会が予定されている。

講演終了後、四会場に分かれて、分科・分散会が開かれる。テーマは「人権擁護委員活動の現状と問題点」「自主運営の現状と成果及び問題点」の二つで、フリートークキングの形で運営されるが、すでに司会者・記録者が決まり、充実した研究会となるよう、関係者は合同で何度も打ち合わせや勉強会を重ね、準備を進めている。当日は建設的な多くの意見、委員同士の問題点の認識とその共有を期待したい。

《意見交換会部門》

研究大会終了後の午後六時より、バンケットホールにて「山梨の思い出づくりに楽しいひとときを」の横断幕のもと、意見交換会が開催される。各都県の委員の方々の交流が、和気藹々和やかなうちに図れるよう、さまざまな工夫が企画されている。

予め各テーブルに県内委員を数名配置し、県外からの委員へのサービス、話し合い・交流が深まるようリードしていただく。アトラクションとして民謡・舞踊、ジャズ演奏、ろうあ太鼓をお願いし

て会場を盛り上げる。更に地元名物の吉田のうどんや甲府の鶏モツの屋台などを設けて、甲州の味を楽しんでいただく、等である。

《エクスカーション部》

大会翌日のエクスカーションは、富士急トラベルとの協議の結果、富士山五合目・忍野八海・リニア見学センターを回るコースに決定した。当コースの目玉は、なんと言ってもリニア見学だろう。現在リニアの走行運転・試乗は実施していないため、試乗は不可能との観測。県リニア推進課担当者の現地説明の了解はもらっている。当日ぎりぎりまで各方面と対応して、より充実したエクスカーションを目指している。県内委員にも多数参加していただきたい。なお、大会当日の宿泊関係およびホテルまでの交通手段等は、全面的に富士急トラベルの協力をいただくことになっている。

甲府・峡南で研修会

平成二二年度甲府協議会の委員研修会が二月一九日中央市の玉穂生涯学習館で開かれた。内容は、駿河台大学ハンドボール部監督鈴木徹



氏による講演、啓発ビデオ視聴、川崎人権擁護課長より「人権侵犯事件について」の三つ。『障害を乗り越えて』の講演の中で鈴木氏は「①どのようになり越えたか②真のバリアフリーとは」についてを柱に、事故で片足を失い、義足でもアスリートとして活躍できるようになったのは、「夢」と「周りの人々の支え」があったからこそ、と語った。

また、どんな小さな目標でも「夢」になりうる、障害者も健常者も総合点では何も変わらない、「心が動けば体が動く」、自分でやろうとする姿がバリアフリーなのだと言った。体験に基づいた講演は説得力にあふれ、聴衆の心を打った。一方、峡南協議会第三回研修会は、二月一八日身延町の下部ホテルで開催され、協議会委員三八名中三六名が出席、今年度の活動を締めくくるにふさわしい研修会となった。研修前半は、須藤鯉沢支

委員から一言

局長の「相続登記と成年後見制度」、続いて同支局浅川係長の「人権相談から見た戸籍・国籍」と二つの講演が行われた。休憩を挟んで後半は、当研修会恒例の研修会報告が行われた。今年度東京法務局で実施された男女共同参画問題研修会等の参加者による報告であるが、中央における研修内容を、広く委員に浸透させるよい機会といえる。また、中学生人権作文入賞作品朗読の録音を全員で聴くなど、盛りだくさんの研修であった。

県連・各協議会の定時総会

平成二二年度の総会開催日程は次の通り。

□ 県連総会及び講演会
日時 五月二一日(金)
午後二時三〇分

□ 都留協議会総会
日時 四月一四日(水)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 峡南協議会総会
日時 四月二一日(水)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

□ 甲府協議会総会
日時 四月一九日(月)
午後二時三〇分

